

平成17年11月に、研究会の設置について、説明させていただいた際にいただいた主な意見は、次のとおりである。

交通規制

- ・ 交通規制は、臨機応変に規制する道を変更し、様子を見ながら、対話型の対応が必要である。駄目なら引き返すぐらいのことが必要で、良い対応策だけをつないでいく方法が考えられる。
- ・ 店舗の変化、歩行者の増加を示し、タイミング的に、規制を掛け、一気に商店の数を増やしていく時期、利幅の大きい業種を増やしていく時期にきていることを、地権者に示してはどうか。

駐車場対策

- ・ コインパークは地域の活性化につながらない。
- ・ 景観法関係で、駐車場をビルに建替えた方が得だというギリギリのところに持つていくことが対策として考えられる。
- ・ 関連の金融機関から声を掛けてもらうことも考えられる。
- ・ 民間駐車場は個別に対応しつつ、組合を入れつつ、上手にビルに建替えるなりして、土地を有効活用して営業できるようにする方法で対応する必要がある。
- ・ 商店街の空きスペースで、商店街支援策として、ワゴン営業させるメニューが考えられる。新風館の中庭でやっていることを、コインパーキングの所でやるイメージ。
- ・ 商店街の空きスペースに小屋を建て、飲食店等を営業させ、規制は土曜日、日曜日だけ行うことが考えられる。交通規制は、曜日や時間、いろんな組み合わせが考えられる。1本1本の通に対応した規制のあり方を考えてほしい。

四条通

- ・ 交通政策に対しては、大筋はOKなので、対応する場合は余裕をもって当たる必要がある。

三条通

- ・ 三条通の懸案となっている駐車場は、2件ぐらいになっている。

御幸町通

- ・ 楽洛まちぶら会協賛企業が多いことから、ここから説明していくという方法もある。
- ・ 御幸町通は、ファッションストリートになってきている。

店舗の増加・変化

- ・ 丸太町，四條，河原町，堀川に囲まれた範囲の平成4年，10年，15年の店舗の移り変わりの調査結果から，店舗は入れ替わらないと総数は増えない。入れ替わりが少ない所では店舗数が増えないという理屈が分かる。
- ・ 平成4年，10年では，四條河原町に集中が見られるが，西に増えてきている。三條通，綾小路通が増加している。
- ・ 一番増えているのは飲食店で，全増加件数の41%を占める。次に美容院，エステ等。これをまちの女性化と言う。